

淡々と生きる生き方

最近私がいいなあーと思ひ、意識していることに「淡々と生きる」という生き方があります。

目の前に起きた現象についていちいち評価・評論(「良かった」「悪かった」「不幸だ」等々)せず、人生は生前に自分で書いてきたシナリオ通りになるのだからただ淡々と「あーとうな、たんだあ〜」「こういうこともあるよなあ」と心の中で言いながら生きる方法です。
仮にとっても嫌なことがあっても淡々と受けとめるだけ。とうることで不思議と嫌なことに深入りせず済むし、心の傷も浅く済むことが分かりました。どんなことが起きても「怒らず」「怒鳴らず」「動じず」「喜ぶ」「優もしない」。淡々と受けとめる。そんな生き方です。

とんなのつまらないじゃないですか、って思う? 刺激も感動もないじゃん?

そうであかね〜

牛車別におもしろいことやラッキーなことがなく、事故やトラブルもなく、何事もなく穏やかに淡々といた毎日を送れていることに、幸せの本質があるようです。

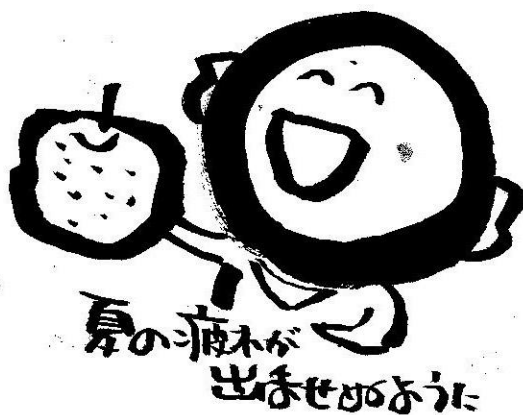


お世蔵さん だより

2009. 8月

Vol.68


偉いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越
鳥越 介 順



営業現場最前線

時代とともに営業現場の状況も変わってきました。昔から営業の世界では、キャラクターの濃い営業マンが一方的によくしゃべり、熱心で、押しの強い人が成績もよく、できる人でした。しかし今は違うようです。そういう営業マンはお客さまにとってターゲットになりつつあるようです。
インターネットの買いもののように、決まれば売れ残ることなく、聞きたくない説明もさることなく、必要な情報だけクワックして得る。すべて自分のペースで…
というスタイルが営業現場でも受けが良いようです。だから私も必要以上にしゃべることなく、クワックしたこと(質問された)のみ手短かに分かりやすくお伝えし、決まれば売れないスタイルに徹している。唯一できることはお客さまのお話を思いっきり聴いてあげることと、タイムリーな質問もあることぐらいなので、ものあざく変わりましたね。😊

かこいいい父親の姿

唯一、息子(高1)にとってかこいいい父親の姿は、クーラーのスイッチを入れる父親の姿である。夏も盛りの休日の朝涼〜ムシムシと朝から暑い。誰かが「朝からクーラーは……」と思っている時、父「んっ! 暑いぞ」と一言。とてピッ! とクーラーのスイッチ。まさにヒーローの登場である。最近ではリモコンの温度設定まで覗かれています。★
ここぞという時は  °Cとすると「やるな父親!!」と株が上がる。